

学 位 論 文 要 旨	
氏 名	馬 麗 娜
題 目	中国における資源循環型農業システムの実態と持続性に関する研究 (Studies on the Actual State and Sustainability of Resource Circulation Type Agriculture System in China)
<p>資源循環型農業の発展は農業発展の持続化、農業資源利用の節約化、農業生産プロセスの清潔化、農業・食品加工業由来副産物の資源化などを促進する。本研究は、中国における資源循環型農業システムの実態と持続性を課題としている。</p> <p>その課題に関しては、農場、農家の経営実態と収益状況の解明、副産物の市場構造と行動の解明、また資源循環型農業システムの持続性の考察、の3つの側面からアプローチしている。資源循環型農業システムを継続することへ影響を与える経済的側面に配慮し、農場、農家の経営実態と収益状況を考察することは不可欠である。また、農業や食品加工業からの副産物の有効利用は副産物の放置を抑制し、存在する資源の節約にも貢献することから、副産物が有効利用されるか否かに関係する副産物の価格の形成に影響する市場構造と行動を明らかにすることが重要である。さらに資源循環型農業システムの持続性を2つの観点から分析するが、一つは構成主体間の取引関係の継続性、もう一つは副産物の取り扱いによる各構成主体の収益性への影響である。</p> <p>調査地域は、広東省珠江デルタにある白蕉鎮、河北省保定市徐水県、河北省保定市漕河鎮である。白蕉鎮では16世紀から現在までも資源循環型農業が行われている。河北省保定市徐水県の河北徳力は中国における加工食品の売上上位企業であり、河北徳力は契約農家及び連携している牛飼養場と資源循環型農業システムを設立し、そのシステムは20年ほどの長期に及んで持続している。漕河鎮は中国における資源循環型農業の試験地であり、2010に完成した資源循環型農業システムは国家重点模範例となっており、10年以上継続している。これらの事例に対して、当地政府の統計資料、計4回の現地調査と1回のオンライン調査を基にした定量的手法と定性的手法の2つのアプローチを用いて実証的な分析を行った。</p> <p>中国における資源循環型農業システムは、①資源の節約を目的とした循環型農業システム、②副産物の利用を目的とした循環型農業システム、③企業による加工、販売一体化システムの3つのタイプに分類できる。農産物の販売収入もさることながら、副産物の利用によってコストの大幅な増加を回避できる効果とコストを削減する効果が資源循環型農業システムを維持する条件の一つといえる。また、副産物が供給者から需要者に移転できるようにその価格が設定されていることは農業副産物の有効利用へ繋がっている。更に、資源循環型農業システムにおける各構成主体間の低い取引費用と信頼関係によって形成された副産物取引を継続的に行う協調関係、また、副産物の取り扱いがあっても各構成主体の純収益が良好であることは、資源循環型農業システムが持続することを規定する要因となることを解明した。</p>	